

第374憲兵中隊、対アクティブ・シューター演習を実施 374th Security Forces Squadron train in active shooter exercise

January 17, 2023

By Airman Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

1月10日、第374憲兵中隊は、横田基地の旅客ターミナルにおいて実戦を想定した即応態勢を訓練する「対アクティブ・シューター(銃乱射犯対応)演習」に臨んだ。

第374空輸航空団司令官アンドリュー・ラダン大佐は、「これらの演習は、初動対応要員が即応態勢を演練し、改善すべき点を見出すのに役立つ」と述べ、「課題を見出し、そこから学び、仲間と共有することが重要だ」とコメントした。

初動対応要員は、基地の人員と資産を守る重要な任務を担っている。定期的に技術を磨き、基地の安全と安心を維持することが大事だ。

(写真1)1月10日、横田基地で実施された対アクティブ・シューター演習で、旅客ターミナルの建物内に銃を構えて突入し、模擬の銃乱射犯を捜索する第374憲兵中隊の隊員。



1

(写真2)模擬の負傷者を搬送する第374憲兵中隊の4人の隊員。

第374憲兵中隊は、犠牲者に扮したボランティアに戦術的戦傷救護の模擬演習を行った。これらの訓練は、基地の即応態勢を見直し、あらゆる不測の事態における対処能力を強化することを目的としている。



2

(写真3)第374憲兵隊員にフィードバックを行う第374空輸航空団監査チームの隊員(右)。

演習を執行した第374空輸航空団監査チームは、安全確保のための行動を監査し、参加者へのフィードバックを行った。第374憲兵中隊は、部隊の即応態勢の維持及びアクティブ・シューター事件が実際に発生した場合の現在の対処能力を試す、継続的な取り組みとして同演習に臨んだ。



3